

# くすりのしおり

自己注射剤  
2017 年 12 月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 商品名:エイフスチラ静注用 500

**主成分:**ロノクトコグアルファ（遺伝子組換え）(Lonoctocog Alfa (genetical recombination))

**剤形:**注射剤

**シート記載:**



## この薬の作用と効果について

血液凝固第 VIII 因子製剤であり、出血傾向を抑えます。

通常、血液凝固第 VIII 因子が欠乏している人の出血傾向の抑制に用いられます。

## 次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（:医療担当者記入）
- ・添付の溶解液の全量で溶解し、通常、1 回体重 1kg あたり 10～30 国際単位を、緩徐に静脈内に注射しますが、状態に応じて適宜増減されます。また、定期的に使用する場合は、通常、1 回体重 1kg あたり 20～50 国際単位を週に 2 回または 3 回投与する。  
本剤は 1 バイアル中に主成分 500 国際単位を含有します。必ず指示された方法に従って使用してください。
- ・一度溶かした薬は 25℃以下で 4 時間以内に使用してください。また、溶かした薬が濁っている場合や、沈殿のある薬は使用しないでください。
- ・注射し忘れた場合は医師や薬剤師、看護師に相談してください。
- ・誤って多く注射した場合は医師や薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で注射するのを止めないでください。

## 生活上の注意

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、過敏症、めまい、発疹、かゆみ、発熱、注射部位疼痛、寒気、熱感が報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・蕁麻疹、胸の痛み、いきぐるしいなど [ショック、アナフィラキシー]
- ・発熱、寒気、ふらふら感 [過敏症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、凍結を避け、2-8℃の光の届かない場所で保存してください。（冷蔵庫で保管することが望ましいです）
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。